

## 第 180 号 スポーツ施設の説明根拠の明確化について

浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（以下「計画」という。）において、アイススケート場の方針は、平成 29 年 5 月 24 日に浜田市スポーツ推進審議会から提出されました「スポーツ施設の適正な配置及び整備について（答申）」を尊重しまして、「用途変更」の方針です。

### 【用途変更方針の理由】

- ①冷凍機等の更新に費用がかかる（イニシャルコスト）  
→直ぐに大きな費用がいる。
- ②利用者数の状況による費用対効果（ランニングコスト）  
→利用者総人数が減っている。  
市民の利用割合が低い。
- ③屋根付き広場の有効利用  
→①で示した冷凍機等の更新にかかる多額の費用がかからない。  
（若干の改修はあるものの、機器の更新は不要。）  
アイススケートを廃止しても施設躯体の有効利用が図れる。
- ②市民の利用割合の増加が見込まれる。  
費用対効果において、かかる費用がアイススケート場よりかからないと想定した。

以上のことから、浜田市スポーツ施設再配置・整備計画（案）において、総合判断として、「サン・ビレッジ浜田について、利用者が半減していること、また利用者のうち市民の利用者が低く、県西部の人口規模で、収支を賄うだけの利用者の確保をすることは困難なことなどから、多額の修繕費、設備の更新費を捻出することはもちろん、施設の維持も困難」であるので、機器の更新や修繕をしない判断となりました。

また、市民の健康増進やスポーツの振興の観点からも「費用対効果が欠ける」との結論になりました。

別の見方では、一定の経済効果が期待されるとはいいながら、それでもなお、「浜田市民の多額の税金を他市町村の住民のために、支出することに問題がある。」といった判断です。

このような中、パブリックコメントにおいて、アイススケート場に対するご意見の中には、すぐに判断できないものの、今後時間をかけて検討すべき提案もありました。

### 【一例】

- 1 存続すべき意見(例)
  - 1-1 浜田市以外の利用者からの関心が高いことが特徴
  - 1-2 老若男女問わず利用できる

- 1-3 観光や広域的な大会により交流人口の増加が見込まれる
- 2 全国的に少ない施設なので参考になる意見（例）
  - 2-1 一年を通して利用可能とする通年型への検討
  - 2-2 冷凍機更新にかかる補助金等活用の検討
  - 2-3 費用対効果にかかるシミュレーションの検討
  - 2-4 利用実態調査
  - 2-5 今後を見据えたアンケート実施の検討
  - 2-6 他の観光施設との連携
  - 2-7 周知方法に対する検討
- 3 「スポーツ施設の適正な配置及び整備について(答申)」についての異議

このため、今後の状況を見て検討する必要があると考え、2年間の検証期間を設けるよう、計画（案）の修正をしたところです。

そして、計画（案）の見直しを検討するには、用途変更に至った理由①と理由②を克服することが先ずは、必要であります。

理由①の〔冷凍機の更新に費用がかかる〕については、具体的に必要な費用の積算を行ったうえで、政策的な見地や財源は、補助金の調査や起債の検討等が議会からも提案され今後時間を要します。

そして、理由②〔利用者数の状況による費用対効果〕につきましては、結果としてこの数字〔利用人数・市民の利用割合〕を上げることがアイススケート場の存続に大きくかかわるものと判断しています。

なぜ、理由②がアイススケート場の存続に大きくかかわるものと判断しているかと申しますと、前述した用途変更する理由（下線部）があるからです。この理由②を指定管理者、利用団体等の組織が、利用者増加に向けた取組みを行い2年間の検証期間を設定したため急激性と継続性を求めました。

なお、陸上競技場や野球場とアイススケート場において、なぜ、アイススケート場のみ収支を求めるのかとの説明は、その施設の市内競技人口や各市町にあるべきスポーツ施設の状況、さらには、前述した用途変更する理由（下線部）から、市内に存するスポーツ施設の存否や修繕・改修等の順位等は、必ずしも同一ではないと考えております。